石川	工業高等	専門学校		開講年度	令和04年度 (2	2022年度)	授業科目	線形代数			
科目基礎	營情報										
科目番号		0007				科目区分	専門 /	専門 / 必修			
授業形態		講義				単位の種別と単位	立数 学修単	学修単位: 2			
開設学科電子機械工				享攻		対象学年	専1	専1			
開設期前期						週時間数	2				
教科書/教	材	高遠節夫	ほか	「はじめて学 <i>ふ</i>	ベクトル空間」(
担当教員		森田 健二									
到達目標	<u> </u>										
1. 数べく	<u>-</u> クトル空間,	基底,成分 直交基底が理	が理解解でき	解できる。 きる。							
ルーブリ	ノック										
				想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レイ	 ジルの目安	未到達レベルの]安		
到達目標 項目 1				ベクトル空間 _/ できる。	, 基底, 成分が理	基本的な数ベクトル空間, 基底 , 成分が理解できる。		数ベクトル空間, 解できない。	, 基底, 成分が理		
到達目標 項目 2			₹.	底変換, 正規i る。	直交基底が理解で	基本的な基底変換 が理解できる。	⊉,正規直交基 ————————————————————————————————————	底 基底変換, 正規i きない。	直交基底が理解で		
学科の至	引達目標項	目との関	係								
創造工学	プログラム	B2									
教育方法	 去等										
概要		習する。 る能力を 【キーワ 数ベクト	数・幾 このぶ。 ード】 ル空間	(・幾何で学んだベクトル,行列,行列式を一通り学んだことを発展させた,ベクトル空間に関する内容を学っているとにより,理論的解析能力を身につけ,課題の解決に最後まで取り組み,自分の考えを正しく表現できぶ。 ド】 空間,基底,成分,基底変換,線形変換							
授業の進め	め方・方法	【事前事	後学習	習など】 佐ち破詞する	るため,適宜,レポ	しかじを宇佐する	Z				
□ アクテ	ーィブラーニ	成績の評 総合成績 多上の区分	価基準 : 前期	平価基準】 きとして60点は 別の定期試験の ICT 利用	以上を合格とする。)平均(70%), 	前期末試験を実施 小テスト・レポー	卜課題(30%		ある教員による授業		
授業計画	<u> </u>										
	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標					
		1週	数ベクトル空間1			1.					
		2週	数ベクトル空間 2				1.				
		3週	線形独立,線形従属 1				1.				
		4週	線形独立,線形従属 2				1.				
		5週	線形独立,線形従属				1.				
		6週	基底:	1			1.				
		7週	基底 2				1.				
사 #미		8週	基底の変換 1				1.				
前期		9週	基底の変換2				1.				
		10週	内積と	と正規直交基原	<u> </u>		2.				
		11週	内積と	と正規直交基原	ミ2		2.				
	22.40	12週	内積と	と正規直交基原	3 3		2.				
	2ndQ	13週	2 次元	元数ベクトル3	空間の線形変換1		2.				
		14週			空間の線形変換 2		2.				
		15週	前期復習								
		16週									
モデル	コアカリコ	トユラムの	学習	内容と到達	 :目標						
<u></u>	_, ,,,,	分野	<i>,</i> □	学習内容	学習内容の到達目	 標		到達1.	バル 授業週		
<u>// </u>	<u></u>	[77.2]		בונום נן		193					
計画計	7		試	F全		ルニフト 無時		△≡↓			
W. ヘ==/ (不安!) ヘ						小テスト・課題			合計		
総合評価割合)		30			100		
基礎的能力				•		0			0		
専門的能力 分野横断的能力						0					
			70 0)		30		0			